

豊橋の宝



市電

昔から市民の交通手段として活やくする市電ですが、車のふまゆにより、乗客が減少しています。そこで、夏は、ビール電車、冬は、おでん車の運行を始め、乗客の人氣を集めています。また、豊橋まつりなどの行事が

現在、路面電車は全国で十七都市しか走っていません。その中に豊橋が入っている事をうれしく思います。豊橋の路面電車(通称・市電)は、大正十四年に今の豊橋鉄道が運行を始めました。現在のルートは当時とちがう場所があり、移設廃止、また新たに開設された所もあります。

がんばる市電



ある時は、行列かできて乗りきれないほどで市電の健在ぶりかわかります。市電は、私達市民の重要な交通手段であると共に、たくさんの方の思い出がたまった宝箱列車だと思っています。大正時代から豊橋の移りかわりをゆっくり、のんびりと見守っている市電。これからも、

珍タイムズ

羽根井小学校
5年3組
鈴木綾音

人にやさしく!!

- 乗降が楽なバリアフリー
- 車いす専用のスロープボタンあり。
- 通路の幅は、車いすか移動できるサイズ

環境にやさしく!!

- 豊橋に緑をふやすために、線路内に3色の芝生を植えて実験中。
- しん動、そう音が少ない

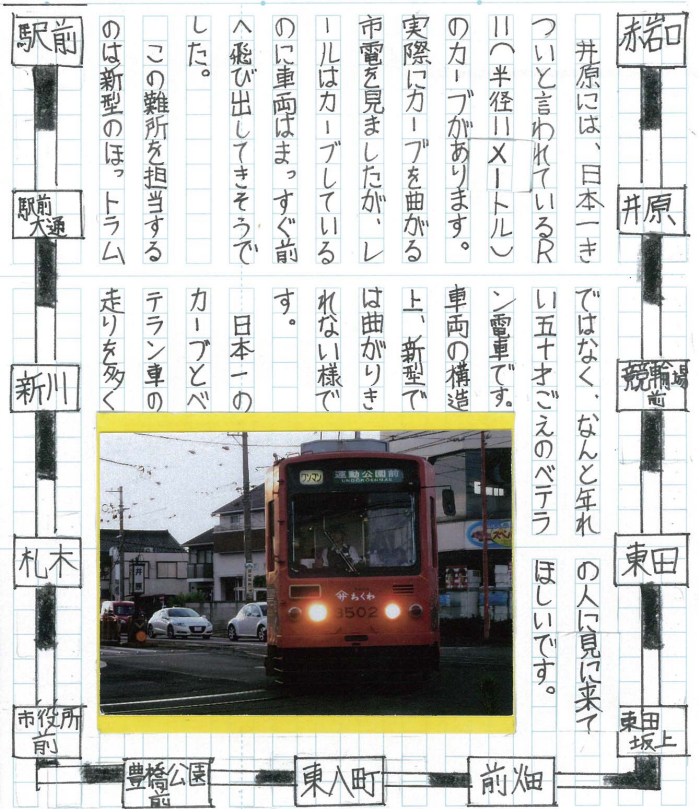


- 省エネ
- CO2の排出が少ない。

ほつトラムの工夫

かんばって走り続けてほしいです。

日本1の急カーブ



あとかき

一般に市電とは、市営電車の事をさすか、豊橋の場合は「市内電車」が省略されたと思われます。また、お年寄りには、「ちんちん電車」と言った方が、なじみ深い様です。出発の時に「ちんちん」と鳴るレトロな音が好きなのと、珍らしい事をかけあわせ、新聞名としました。